



映像



公共施設に対して今後の省エネ計画は



野坂 純子 議員

太陽光発電や蓄電池の同時設置も検討



年々増加している3歳未満の子どもたち

本町の未来のために期待する施策（子育て・若者支援のさらなる前進、高齢者の移動支援と地域福祉の強化、コンパクトなまちづくりと公共施設の利便性向上、SDGs 未来都市としての環境）などを問う。

問 保育園と放課後児童クラブの受け皿拡充の現状と今後は。

答 住民こども部長▼
0歳児は横ばい、1歳児及び2歳児は増加傾向、3歳児以上は減少傾向。クラブは、令和9年度をピークに減少見込み。今後は、



太陽光発電と蓄電池を備えた公共施設

定員調整や運営の工夫で、受け皿の確保に努めていきたい。

問 SDGs 未来都市として、公共施設に対して今後の省エネ計画は。

答 環境経済部長▼太陽光発電システムへの導入に合わせて、蓄電池の同時設置も検討事項として行く。

小学校クラブ活動に防災クラブの導入を

学校では全児童を対象に防災教育を継続



映像



子どものインフルエンザワクチン助成を



丸山 千代子 議員

任意接種であり慎重に検討したい

インフルエンザの流行で患者数が増加し学級閉鎖が相次いでいる。

問 学級閉鎖数と患者数、入院の人数は。教育部長▼学級閉鎖は62クラス、609人。入院は小学校5人、中学校1人。

答 日本感染症学会は、インフルエンザワクチンの接種は発症防止効果があり、積極的な接種を呼びかけている。

問 すべての子どもにインフルエンザワクチン接種の助成を。

答 健康保健担当参事▼対象者の3割の接種率で約468万円になる。任意接種であり、もう少し慎重に検討したい。



ワクチン接種を受ける子どものイメージ

小中学校同時に学校給食費の無償化を

国の流れに従い次年度以降に取り組み

高齢男性が参加できる居場所づくりを

男塾などニーズを踏まえ取り組みたい



ふじもと かずみ
藤本 和美 議員

投票所入場券のない人には身分証明書を



映像

全国のなりすましや不正を踏まえ考える



問 昨年の参議院選挙は、他人になりすまして投票するなどの詐欺投票が最多の24人。厳正で公正な投票所運営が求められる。

問 投票所入場券を持参しない人の本人確認方法は、

答 総務部長▼生年月日、住所氏名等の本人申し立てと、選挙人名簿の対照を行う。名簿と本人自身を見比べ、性別、年齢的にも一致するかどうかをよく確かめる。

問 身分証明書の提示を求めただけでも、不正の抑止力になり、求めている自治体もある。今後、投票所入場券を持参しない場合、身分証明書を求めるか。

答 不正が全国各地で確認されていることを踏まえ、近隣市と情報交換をしながら考えたい。

問 開票作業の参観の周知は。

答 今はしていない。ホームページで参観できる人、場所、開始の時間等の周知をしたい。

中学生の自主練習に
学校施設の利用を

申請・登録で部活動
以外の時間に開放

交通ポータル整備し情報一元化を



映像

迷わない公共交通となるよう努める



問 駅、えこたんバス、徒歩、通学路、自転車、医療アクセス、情報発信を、ひと繋がりの方策として提案する。

問 駅東側動線で仮設対策を短期施行し、前後比較で効果検証を。

答 建設部長▼比較評価は有効。まず現地調査を実施し、得られた材料を基に分析等に繋げたい。

問 駐輪場・送迎・横断線を含め、駅構内と駅前広場を一体で最適化できないか。

答 駅周辺全体を一体で見直し、道路・ロータリー・駐輪場など全施設の機能や安全性を再検討する必要があるが、課題も多い。

問 交通ポータルを整備し、LINE連

答 企画部長▼各所管で変更履歴管理し、異動時の引継ぎと研修を重ね、強い運用体制を整える。

公共交通情報の一元的な提供など、迷わない公共交通となるよう努める。



多くの人が行き交う朝の幸田駅前広場